

令和7年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：32010

「学ぶ力」	
これまでの成果	課題
<p>◇学校評価アンケートの結果から、「分かりやすい授業が多いと思う」の項目では89.9%の生徒が肯定的な回答と教師回答として96.3%が肯定的である。昨年度よりも、生徒側は2.4%上昇している。分かりやすい授業づくりに向けて、教員の研修やICT機器の利用が効果をあげている。</p> <p>◇「総合・学活・道徳は自分のためになっていると思う」の項目では93.4%が肯定的な回答をする生徒がいるので、内容が十分に定着されていると判断できる。</p>	<p>◇「学習の努力が認められ、それが成績にも表れていると思う」の項目では25.7%が当てはまらないと回答した。各教科での授業を通して生徒に評価方法の徹底を図っていくことが必要である。</p> <p>◇定期テストを終えて振り返りの時間を取っているが、どんな課題が見つかって、どのように解決していくのか、学びの地図を設計できるようにしていく必要がある。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
◇札幌市の共通指標の「自分が必要にされていると感じる」等の相互承認に関連する項目において、本校での現状を取り組みの中で表出できていない。そのため、今年度は【相互承認】の項目を含んだ学校評価アンケートを実施し、実態調査を行いたい。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

主体的な学び、自ら学びの地図を設計できる力

	AARサイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の充実
取組	<p>◇旅行的行事における【課題探究的な学習】の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> →事前学習と事後学習で見通しをもった課題を設定して、それを検証したりまとめたりする活動 →子どもの動きが見えるように計画の徹底と適切な教師の関わりについて →子どもの工夫や挑戦の場が保障される環境づくり <p>◇総合的な学習の時間における【職業体験学習】【旅行的行事における事前・事後学習】などにおける協働探究の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> →多様な他者と対話を通して、思考を再構築する。 	<p>◇よりよい学校にするために学校教育活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> →体育的行事を実施したことによって、協働的な活動の良さを実感できた。 ◇清掃ボランティア →美化委員会による校内外の清掃活動における環境整備の取組 →ボランティアとして100名の有志を集めて活動できた。 ◇文化委員による昼の放送 ◇図書委員会による昼休みの図書の貸出や返却受付やポップ作り 

〈本プログラムの実行に向けて〉

